

年長組の夏の思い出「お泊まり保育」



8月6日・7日に、川越ひばり幼稚園、川越第二ひばり幼稚園、川鶴ひばり幼稚園の年長組が一堂に集まり、三園合同のお泊まり保育が行われました。

普段とは違う場所で、いつもとは違う仲間と過ごす一泊二日。子どもたちは、期待に胸を膨らませながら、さまざまな活動を楽しみました。

各幼稚園を周り、縁日やウォーターパークでの水遊びを全力で楽しむ子どもたち。特別プログラムの食育活動では、グループごとにピザ作りに挑戦しました。生地を伸ばしたり、具材をトッピングしたりと、友だちと相談しながら一枚のピザを完成させていきます。「どれをのせる?」と、楽しそうな声があちこちから聞こえてきました。

三園の仲間と過ごす、特別な夏の一泊



そして、お泊まり保育の夜を彩ったのは、みんなが楽しみにしていた花火です。夜空に次々と打ち上がる色とりどりの花火を見上げながら、「きれい!」「大きい!」とペンライトを振って盛り上がりながらの大歓声。仲間と肩を並べて見た花火は、子どもたちの心に残る特別な夏の一場面となりました。

一日の終わりには、友だちと一緒に布団を敷き、いつもとは違う場所で迎える夜。楽しかった出来事を話したり、笑い合ったりしながら、仲間と過ごす時間を最後まで楽しめました。

さまざまな体験を通して、子どもたちは仲間との絆を深め、一回り大きく成長した姿を見せてくれました。

涼やかな風鈴の音色に包まれて

ひばり幼稚園では、毎年恒例となっている夏の風物詩「ひばり風鈴飾り」が今年も行われました。

園内に飾られた色とりどりの風鈴が、風に揺れるたびに涼やかな音色を響かせています。

登園した子どもたちは、風鈴を見つけると「風が吹くと音がするね!」と興味津々。風鈴の音に耳を澄ませたり、模様を眺めたりしながら、夏ならではの季節を楽しんでいました。

風に揺れる風鈴の音色は、暑い夏の日にも涼しさを感じさせてくれます。日本の夏の風情を感じながら、今年も子どもたちの笑顔が広がるひとときとなりました。



もしものの時の備え、救命救急講習

夏休み期間中に、子どもたちが安心して園生活を送れる環境づくりの一環として、川越地区消防局のご協力のもと、職員を対象とした「救命救急講習」を実施しました。

講習では、応急手当の方法をはじめ、小児・乳児に対応した心肺蘇生法やAEDの正しい使用方法について学びました。

人形を使った実技も行われ、職員一人ひとりが実際の場面を想定しながら、手技や対応の流れを丁寧に確認しました。特に、小児・乳児への対応には大人とは異なる点もあり、実際に体験することで、より具体的に学ぶ機会となりました。

いざという時に、落ち着いて迅速かつ適切な対応ができるよう、今回の講習で学んだ知識や技術を今後活かしてまいります。



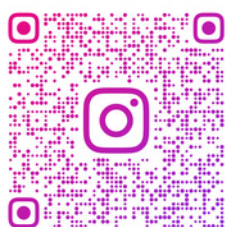
今月のお知らせ

風鈴飾りの様子

Instagramでは、期間限定だった風鈴飾りの様子も更新。

ぜひみなさまご覧ください!

いいね・フォロー也大歓迎です!



@HIBARI_KINDERGARTEN